

## 園長にのぞむもの

私は、一私立幼稚園に勤務す

る者ですが、私たち、私立の教員と園長との関係は、なかなか複雑なものがあります。それは、多くの場合私立の園長は、職務上の監督者であると共に、幼稚園に資財を投じている経営者であり、私たち教員の雇傭者である点です。

私立幼稚園は非常に数が多いのですが、その質は、いいものから悪いものまで、千差万別で、極端に悪い所は「教育」が目的なのか、利潤をあげたり、その地域に勢力をもつことが目的なのか、理解に苦しむほどです。私たちが日頃、園長先生に不満を感じたり要求をもったりするのは、主としてこのような経営者としての園長先生に関し

てです。

同じく私立幼稚園に勤務する友人たちが久し振りに会って、いろいろ話し合うと、ふだんは、胸の奥にしまいこまれていた不満が、ふと洩れ、お互いに共感し合うことがあります。

その主ないくつかを、次に記してみましよう。

○園長先生が父兄の言うことをあまり気にし過ぎる。もう少し、自分の園の教育と先生に自信をもってほしい。

○七夕まつり、運動会、クリスマス、ひなまつりと、一年中行事に追いかけられ、しかも、一つの宣伝と考えて、教育的で無いほど、派手にするので、負担でならない。

○園長先生の考えていること

に何か批判めいたことをすると(たとえば、行事の持ち方など)事ごとに冷い態度をされ、とてもつらい。園長先生の思う通りにしなければ、「やめなさい」と言わんばかりの態度である。

○私たちの保育の不十分な点は、同僚の前で冷く指摘しないで、暖く指導してほしい。情熱をもって、先生を志したのに、自信を失ってしまう。

○私たちを、園長先生の家の使用人とまちがえて、家の掃除、炊事、子どもの世話などを手伝うことを、公然と要求されるのは、非常に重荷である。設備をもっとよくなり教材教具を豊富に整えてほしい。

○教具を豊富に整えてほしい。不足を保育力や廃物利用の教材で補っても、限界がある。

○研究会や講演会などの研修の会に、出来る限り参加したり、また、大学などへ内地留学す

る機会を与えてほしい。

園長先生がお読みになったらなんて勝手な不満や要求だとお感じになるかもしれませんが、あえて、私は、友人たちを代弁して、次のことを望みたいと思います。

○給料をせめて、公立の先生なみにしてほしい。

○父兄のつまらぬ批評に敏感になり過ぎず自分の園の教育と先生に自信をもってほしい。

○ご自分のもので、立派な良い先生を育てるのだという、ひろい暖い気持で指導してほしい。私たちも、立派な先生になれるよう努力します。

○幼稚園の行事を宣伝の手段と考えたりしないで、真に、子どもの成長発達のためになる設備を整え、教材教具を豊かにしてほしいこと。